



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

週報



所沢西ロータリークラブ
(RI第 2570 地区第 3 グループ)

会長 室伏秀樹 ・ 副会長(会長エレクト)山田富男
幹事 栗原和明 ・ クラブ管理運営委員長 内田 学
例会場 所沢市星の宮1-3-5 〒359-1127 セレス所沢 TEL.04-2923-4122
事務局 所沢市けやき台2-7-6 〒359-1118 安田第三ビル206号 TEL.04-2926-1666
例会日 毎週火曜日(12:30~13:30) <http://www.tokorozawa-nishirc.net/> FAX2926-5151
E-mail nishirc@dream.ocn.ne.jp

近辺 RC の開催日一覧表 (メーキャップにご利用ください)

クラブ	所沢中央	所 沢	新 所 沢	所 沢 東
例会日	月曜夜間	火 曜 日	火曜夜間	木 曜 日
例会場	セレス所沢	野村證券	セレス所沢	セレス所沢

四つのテスト

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

1. 点鐘…会長 2. 斉唱…ロータリーソング 3. 来賓紹介 4. 会長、幹事報告 5. 委員会報告

第 1257 回例会 2012・5・29

卓 話	例会当番	記念祝福
5/29 次年度クラブフォーラム	小暮 博文	
6/5 「政局と橋本旋風」 Japan echo 原野 城治様	佐久間睦夫	
6/12 「最近の相続税の状況」 所沢西 RC 会員 渡部 照夫様	須澤 一男	

■出席報告	
月 日	5/15
会員数	38
出席者	29
出席率	76.3%
前回修正	86.8%

会長の時間

室伏 秀樹

さてこのところは、宇宙ショウが連続しています。

初めて海外から受注した韓国の衛星など4基を搭載したH2Aロケット21号機が18日(金)午前1時39分、鹿児島県の種子島宇宙センターから打ち上げられました。

21号機で打ち上げたのは、韓国の多目的実用衛星「アリラン3号」、日本の水循環観測衛星「しずく」、小型衛星「SDS-4」、九州工業大学の小型衛星「鳳龍式号」です。

H2Aの打ち上げは、2003年の6号機失敗後、15回連続の成功となり、成功率は95.2%、日本の悲願だった海外衛星の打ち上げ成功を契機に、15兆円ともいわれる、世界の打ち上げビジネスへの本格的な参入を加速させたい考えです。でも課題が残ります。

打ち上げ費用が海外勢に比べ割高感がある。

H2Aは1機当たり80~100億円で、ロシアに比べ2~3割高い。日本の衛星と相乗りという工夫で、大幅に安い打ち上げ価格を韓国側に提示できた。

もう一つは信頼性だ。欧州のロケット「アリアン5」は62回の打ち上げ経験があり、48回連続成功している。H2Aは今回21回目の打ち上げで連続成功は15回、信頼性の面でも優位性はない。これからが正念場だとありました。

宇宙ショーの式番目は、皆既日食です。

昨日の朝7時半くらいに、運よく雲も取れ見ることができました。

今回は北海道で18年後、東京で300年後だそうです。

そして参番目は、宇宙ではありませんが、高さ634m自立式電波塔では世界一の「東京スカイツリー」が本日オープンします。

東日本大震災の激しい揺れに見舞われたが、作業員にもツリーにも被害はなく建設は着々と続けられ1週間後に634m(むさし)到達した。

限られた広さの敷地に建設するため、塔の横断面が足元の正三角形から、上に行くにつれて円形に変わる。

そこに「反り」「むくり」といった、寺社建築や日本刀などの造詣が生かされた。中心に「心柱」を通すという、地震の揺れを減じるための構造も五重塔の技法を学んでいる。とありました。久しぶりに日本の技術を祝いたいと思います。

本日は、井花ガバナー補佐がお見えです。よろしくお願いたします。

17日に事務所の移転を行いました。

本橋さんには、職人3名とトラックを、栗原幹事にはトラックを、大館信夫さん、堀江さん、和記さん大変お世話になりました。本橋さんには廃棄物の処理までお願いしました。私は、社用でパスしました。ごめんなさい。

翌日、書き損じはがきの礼状5,500枚を事務局に届けました。弁解です。

幹事報告

栗原 和明

- ★ 米山学友総会&新奨学生歓迎会のご案内・・・
6月10日(日)午後3:30～ 東武ホテル
- ★2011-12年度 地区役員・クラブ会長・幹事合同
会議のご案内・・・6月16日(土) 13:00～
川越プリンスホテル
- ★ 例会変更・・・所沢 RC、新所沢 RC
- ★ 週報・・・吉安 RC
- ★ 我クラブの事務所の引越が5月17日(木)に
行われ、無事終了致しました。有難うございました。

《一年間お世話になりました》

第3G ガバナー補佐 井花 富男様

みなさんこんにちは。貴重な例会のお時間を頂戴いたし恐縮いたしております。

過日の IM、GSE では大変お世話になりました。有難うございました。

IM では、鈴木真澄会員さんに3回に亘る実行委員会にご出席いただき、また当日は素晴らしいイベントで、IMのメインイベントを盛り立てていただきました。

また IM の受け入れの際は、室伏会長さん、栗原幹事さんには大変お世話になりました。誠に有難うございました。重ねて厚くお礼申し上げます。訪問団メンバーも GSE の目的を十二分に果たし、ブリスバンに戻りました。所沢西ロータークラブの皆さんのローターの友情に改めて心よりお礼申し上げます。



本日は、私なりのロータリーの奉仕活動についてのスタンスをお話して、お礼の挨拶とさせていただきます。与謝野晶子の手紙にこう云った件があります。

「人生に何が残り候やと考へ候へば、はかなきものながら歌のたぐいに候べし」

文学では世の中の全体の中のほんの些細なことしか取り上げませんが、その中には世の中に残っていくものがあります。時代を超えて生き残り、人に勇気を、感動を与えるようなものがありますと言っています。ローターの奉仕活動も何か同じような気がいたします。

以前、米山の部門委員長をやっているとき、「米山の寄付って役に立つの？」と聞かれた時があります。そんな時、こんな話を紹介させていただきました。

ニュートリノの研究でノーベル賞を受賞した小柴昌俊さん、岐阜県の神岡鉱山の跡地のカミオカンデでのニュートリノの研究費用の寄付を三菱グループの会長、社長の集まりの会にお願に行きました。そしたらみなさんから、「小柴さん、その研究は何に役立つのですか」と聞かれたそうです。小柴さんは「そうですね。百年後に役に立つか立たないか分からないものです」と答えました。さすが日本のトップリーダーの方々です。小柴さんのお話にいたく感動して寄付をしてくださったそうです。米山もそのくらいのスタンスで見てくださいとお願いしました。

みなさんの奉仕活動、実に貴重なものです。しかし成果をすぐ求めることなく、成果に一喜一憂するのではなく、このくらいのスタンスで見ただけならと思います。この一年本当に有難うございました。心より感謝申し上げます、お礼申し上げます。

第3グループガバナー補佐 井花 富男様

G補佐職も残す処1ヶ月余となりました。本日はお礼に伺わせて頂きました。

室伏 秀樹 井花ガバナー補佐ようこそいらっしゃいました。荻野さん卓話よろしく申し上げます。大館さん、石井さん、写真をコックンカップ（有難う）

栗原 和明 ガバナー補佐井花様、本日はお忙しい中有難うございます。又、荻野様よろしくお願ひ致します。大館様、石井様、渡部様、タイ、パンコクの写真有難うございます。

山崎 武邦 前回欠席。先日のタイ国際大会旅行に参加の皆さんには大変、迷惑と心配をお掛けした事を心からお詫び申し上げます。

大館 信夫 事務所の移転、無事5月17日（木）終了しました。栗原さん、本橋さん、本橋さんの社員の方3人、堀江さん、和記さん、大原さん、ご苦労様でした。

平林 忠 体調を崩して、しばらく休みました。

石井 秀夫 前回欠席しました。

大原 律子 先日の事務所移転、大勢の方々にお手伝い戴き、無事引越す事ができました。ありがとうございました。でも、なかなか断捨離出来ず困っています。涙 涙 涙

卓話 『チョット！ お菓子の話』

所沢西RC会員 荻野 賢司様

7月1日は、例年チョコレートメーカーの秋季発売説明会及び、発注の解禁日となっている。これは、チョコレートメーカーがこの秋発売の新製品や規格変更品を卸店や小売業者へ一斉に発表し、その受注を開始するのである。そして、この日を境に各メーカーの熾烈な秋の商戦がスタートする。

チョコレートの歴史を繙くと、紀元前千年ごろのメキシコ原住民の飲みものがその起源となる。その後16世紀のメソアメリカ文明の皇帝モテスマの不思議な飲みものチョコレートが、スペイン人によって発見されヨーロッパへ紹介されることとなった。ヨーロッパでもチョコレートは貴族の飲みものとして貴重品扱いされ、なかなか一般市民の口に入るものではなかった。日本においては、明治11年に初めてチョコレートが製造され、大正15年明治製菓



がカカオ豆から一貫したチョコレートの製造を始めるにいたって広く一般に流通するようになった。昭和36年キャラメルの上上げを抜き、チョコレートが菓子の王座につく。そして、現在3,184億円（平成3年度推定）で国産菓子生産金額の約3.3%を占めている。

ここ数年チョコレートは、順調に伸張してきた。特にロッテの発売したVIPチョコレートによるソフトタイプの生クリームチョコレートは、一昨年の明治製菓のケキチョコ発売へつながり、昨年のティラミスチョコを代表するメーカー各社のデザートチョコレートへと発展した。しかしながら、バブル経済崩壊に伴う経済の変化はそのまま消費者の嗜好をも変化させ、昨年3月以降チョコレートのバブルの象徴とも言うべき、デザートチョコレートは急速に終焉を迎える。それにかわって市場では、各メーカーのロングセラー商品を中心に売上げが伸張してきた。そこで、本年初頭より流通業界ではベーシック商品の見直しが盛んに叫ばれ、各メーカーもロングセラー商品を中心に販売を展開している。本年は新製品としては大きな変化はないものの、本格的なチョコレートを楽しめるわけである。

チョコレートの秋季発売はどんな新製品が発売されるかという興味他に、各メーカーの起用するテレビが誰であるかということがある。菓子はその対象が子供から大人まで幅広く、その時代の顔というべきテレビを起用してきた。そして、菓子の宣伝をしたテレビがその後芸能界で活躍するという事も多くなってきた。古くは若き日の石坂浩二が明治製菓のデラックスチョコの宣伝から一躍有名になり、大型結婚で注目された三浦友和、山口百恵はグリコアーモンドチョコである。最近ではテレビの支持層も多岐にわたるため、各メーカーも各層を対象としたテレビを起用している。本年もどういったテレビが起用され話題になるか、興味を引くところである。

今週の担当 須澤 一男